

貝類の流通・取扱実態に係る事業者への ヒアリング結果

令和 7 年 7 月
消費者庁 食品表示課

貝類の流通・取扱実態に係る事業者へのヒアリング結果 ＜使用している名称（アワビ類等）＞

現行ガイドラインへの掲載	標準和名	学名	一般的名称例	使用している名称				
				豊洲市場 卸売業者5社	水産商社	加工業者A	加工業者B	加工業者C
○	トコブシ	<i>Halotis diversicolor aquatilis</i>	－	トコブシ	×	×	×	×
○	メガイアワビ	<i>Halotis gigantea</i>	アワビ	アワビ	メガイアワビ	×	×	×
○	クロアワビ	<i>Halotis discus discus</i>			クロアワビ	×	クロアワビ	×
○	エゾアワビ	<i>Halotis discus hannai</i>			エゾアワビ	×	エゾアワビ	×
○	マダカアワビ	<i>Halotis madaka</i>			マダカアワビ	×	×	×
○	アカアワビ	<i>Notohalotis ruber</i>	－	×	×	×	アワビ	×
○	アカネアワビ	<i>Halotis rufescens</i>	アワビ	×	×	×	×	×
	ウスヒラアワビ	<i>Halotis laevigata</i>		×	アワビ	×	アワビ	×
○	ミミガイ属	<i>Halotis</i>	アワビ	アワビ	アワビ	×	アワビ	×
○	ヒメアワビ属	<i>Stomatella</i>	アワビ	×	×	×	×	×
○	アワビモドキ	<i>Concholepas concholepas</i>	ロコガイ	×	×	×	×	×

×：“取扱無し”もしくは“種等の認識無し”

貝類の流通・取扱実態に係る事業者へのヒアリング結果
<貝類の取扱状況（アワビ類等）>

ヒアリング対象 事業者	結果
豊洲市場 卸売業者5社	・マダカアワビ：1、2回程度／年の取扱頻度。 ・エゾアワビ：3～4,000円／kg、その他のアワビ：7～8,000円／kg ・アワビ（韓国産）：種はエゾアワビ、同種でも国産に比べて安価である。
水産商社	・オーストラリア産の輸入品のウスヒラアワビ<i>Haliotis laevigata</i>を輸入している。 ・ヒメアワビ：取扱無し。
加工業者A	・アワビ類：取扱無し。 ・ヒメアワビ：取扱無し。 ・ヒメアワビは「アワビ」では無いという認識。
加工業者B	・アカアワビ：オーストラリア産、天然、6,500円／kg（殻付き）、「アワビ」と表示。 ・ウスヒラアワビ：オーストラリア産、天然または養殖、5,000円／kg（殻付き）（養殖）、「アワビ」と表示。 ・エゾアワビ：韓国・台湾産、養殖（天然の取扱無し）、3,000～3,500円／kg（殻付き）、「エゾアワビ」と表示。 ・クロアワビ：国産、天然、10,000円／kg（殻付き）、「クロアワビ」と表示。 ・ヒメアワビ及びアワビモドキ：取扱無し。
加工業者C	・アワビ類、アワビモドキ及びヒメアワビ：取扱無し。

貝類の流通・取扱実態に係る事業者へのヒアリング結果 ＜使用している名称・貝類の取扱状況（サザエ、アカニシ）＞

現行ガイドラインへの掲載	標準和名	学名	一般的名称例	使用している名称				
				豊洲市場 卸売業者5社	水産商社	加工業者 A	加工業者 B	加工業者 C
○	サザエ	<i>Turbo cornutus</i>	－	サザエ	×	×	サザエ	×
○	アカニシ	<i>Rapana venosa</i>	－	アカニシ	×	×	アカニシ	アカニシガイ

×：“取扱無し”もしくは“種等の認識無し”

ヒアリング対象事業者	結果
豊洲市場 卸売業者5社	・「サザエ」と呼ばれる貝は、1 種しかないと認識している。 ・アカニシ：取扱は希。
水産商社	・サザエ、アカニシ：取扱無し。
加工業者A	
加工業者B	・サザエ：国産を使用。 ・アカニシ：ブルガリア（黒海）産を使用。
加工業者C	・アカニシ：ブルガリア（黒海）産のむき身で輸入されているものを使用。

貝類の流通・取扱実態に係る事業者へのヒアリング結果 ＜使用している名称（ツブ・バイ類）＞

現行ガイドラインへの掲載	標準和名	学名	一般的名称例	使用している名称					
				豊洲市場 卸売業者5社	水産商社	加工業者A	加工業者B	加工業者C	
○	エゾボラ	<i>Neptunea polycostata</i>	ツブ・バイ	ツブ・バイ	マツブ	×	×	×	×
○	チジミエゾボラ	<i>Neptunea constricta</i>				×	×	×	×
○	チョウセンボラ	<i>Neptunea arthritica cumingii</i>				×	×	×	×
○	エゾボラ属	<i>Neptunea</i>				×	×	×	×
○	エゾバイ	<i>Buccinum middendorffi</i>			イソツブ	×	×	×	×
○	ツバイ	<i>Buccinum tsubai</i>				×	×	×	×
○	シライトマキバイ	<i>Buccinum isaotakii</i>			トウダイツブ	×	×	×	×
○	エゾバイ属	<i>Buccinum</i>				×	×	×	ツブガイ

×：“取扱無し”もしくは“種等の認識無し”

貝類の流通・取扱実態に係る事業者へのヒアリング結果 ＜貝類の取扱状況（ツブ・バイ類）＞

ヒアリング対象事業者	結果
豊洲市場 卸売業者5社	・ツブとバイは貝殻の形で分けている。 ・マツブ：2,000円／k g、主に刺身用。 ・バイ：1,000円／k g ・一つの箱に何種類も入っている。
水産商社	・ツブとバイの区別に、共通の基準は無く、売る人によるのではないかと。
加工業者A	・ツブ及びバイ：取扱無し。
加工業者B	
加工業者C	・「ツブガイ」としてエッチュウバイ<i>Buccinum striatissimum</i>を使用。 ・むき身の物は、種に関係なく「バイ」とは言わない印象を持っている。殻付きの物で無ければ、「バイ」とは言わない。

貝類の流通・取扱実態に係る事業者へのヒアリング結果
<使用している名称・貝類の取扱状況（アカガイ、サルボウ）>

現行ガイドラインへの掲載	標準和名	学名	一般的名称例	使用している名称				
				豊洲市場 卸売業者5社	水産商社	加工業者A	加工業者B	加工業者C
○	アカガイ	<i>Scapharca broughtonii</i>	－	アカガイ	×	×	×	アカガイ
○	サルボウガイ	<i>Scapharca kagoshimensis</i>	－	サルボウ	×	アカガイ（サルボウガイ）	×	×

×：“取扱無し”もしくは“種等の認識無し”

ヒアリング対象事業者	結果
豊洲市場 卸売業者5社	・アカガイ及びサルボウガイ以外の近縁種の取扱は無い。
水産商社	・アカガイ、サルボウガイ：取扱無し。
加工業者A	・サルボウガイ：かつて、有明海産を使用していたが、量が確保できないため、現在は中国産を使用している。 ・原材料名には「アカガイ（サルボウガイ）」と表示。
加工業者B	・アカガイ、サルボウガイ：取扱無し。
加工業者C	・アカガイ：かつて、中国産を使用していた。貝殻を取り寄せ、その形態からサルボウガイでは無い事を確認した。

貝類の流通・取扱実態に係る事業者へのヒアリング結果 ＜使用している名称・貝類の取扱状況（イガイ類）＞

現行ガイドラインへの掲載	標準和名	学名	一般的名称例	使用している名称				
				豊洲市場 卸売業者5社	水産商社	加工業者A	加工業者B	加工業者C
○	ムラサキイガイ	<i>Mytilus galloprovincialis</i>	ムールガイ	ムールガイ	×	×	×	×
○	イガイ	<i>Mytilus coruscus</i>	—	ムールガイ	×	×	×	×
		<i>Mytilus chilensis</i>		×	ムールガイ	×	×	×
		<i>Mytilus edulis</i>		×	×	×	×	×
○	モエギイガイ	<i>Perna canaliculus</i>	パーナガイ	×	×	×	×	×

×：“取扱無し”もしくは“種等の認識無し”

ヒアリング対象事業者	結果
豊洲市場 卸売業者5社	・ムラサキイガイ：ムールガイで入荷。 ・イガイ：ほとんど取扱無し。ムールガイで販売。 ・ムラサキイガイ（国産）：200～700円/kg ・カナダ産イガイ類：輸送費高騰に伴い3000円/kg（3年前は700～1,000円/kg）
水産商社	・<i>Mytilus chilensis</i>を「ムールガイ」として販売。 ・<i>Mytilus chilensis</i>（チリ産）：900～1,000円/kg（殻付きボイル）
加工業者A	・イガイ類：取扱無し。
加工業者B	・カナダ産イガイ類：加工原料として販売。「ムールガイ」として販売。
加工業者C	・かつて、ニュージーランドやチリ産のイガイ類を使用していた。

貝類の流通・取扱実態に係る事業者へのヒアリング結果 ＜使用している名称・貝類の取扱状況（カキ類）＞

現行ガイドラインへの掲載	標準和名	学名	一般的名称例	使用している名称				
				豊洲市場 卸売業者5社	水産商社	加工業者A	加工業者B	加工業者C
○	マガキ	<i>Crassostrea gigas</i>	－	カキ	カキ	×	×	×
○	イワガキ	<i>Crassostrea nippona</i>	－		イワガキ	×	×	×
○	スミノエガキ	<i>Crassostrea ariakensis</i>	－	×	×	×	×	×

－：“取扱無し”もしくは“種等の認識無し”

ヒアリング対象事業者	結果
豊洲市場 卸売業者5社	・イワガキは他のカキと区別される事はあるが、マガキを含めて「カキ」として扱っている。 ・「スミノエガキ」は認識していない。
水産商社	・オーストラリア産のマガキを使用。 ・「カキ」として扱っている。
加工業者A	・取扱無し。
加工業者B	
加工業者C	

貝類の流通・取扱実態に係る事業者へのヒアリング結果 ＜使用している名称・貝類の取扱状況（ミルクイ等）＞

現行ガイド ラインへの掲 載	標準和名	学名	一般的名称例	使用している名称				
				豊洲市場 卸売業者5社	水産商社	加工業者A	加工業者B	加工業者C
○	ミルクイ	<i>Tresus keenae</i>	ミルガイ	ミルクイ、ミルガイ	×	×	×	×
○	ナミガイ	<i>Panopea japonica</i>	シロミル	シロミル	×	×	×	×
		<i>Cyrtodaria siliqua</i>		×	クロミルガイ	×	×	×

×：“取扱無し”もしくは“種等の認識無し”

ヒアリング対象 事業者	結果
豊洲市場 卸売業者5社	・ミルクイとシロミルは明確に分けている。 ・最近「シロミル」の価格が上がってきている。 ・「黒ミル」の存在は知っているが、取扱は無い。
水産商社	・<i>Cyrtodaria siliqua</i>には標準和名は無いという認識である。
加工業者A	・取扱無し。
加工業者B	
加工業者C	

貝類の流通・取扱実態に係る事業者へのヒアリング結果 ＜使用している名称・貝類の取扱状況（シジミ類）＞

現行ガイド ラインへの掲 載	標準和名	学名	一般的名称例	使用している名称				
				豊洲市場 卸売業者5社	水産商社	加工業者A	加工業者B	加工業者C
○	ヤマトシジミ	<i>Corbicula japonica</i>	シジミ	シジミ	×	シジミ	×	×
○	台湾シジミ	<i>Corbicula fulminea</i>			×		×	×
○	シジミ属	<i>Corbicula</i>			×		×	×

×：“取扱無し”もしくは“種等の認識無し”

ヒアリング対象 事業者	結果
豊洲市場 卸売業者5社	・シジミ類は種によって分けておらず、名称は、総称である「シジミ」を使用している。 ・近年は台湾シジミの入荷は無い。
水産商社	・取扱無し。
加工業者A	・インドもしくは中国産を使用。 ・通常は、むき身の冷凍品で入荷。 ・種を確認するため、殻を取り寄せたところ、シジミの仲間であることは確信したが、種判別には至っていない。 ・近年は台湾シジミの入荷は無い。
加工業者B	・取扱無し。
加工業者C	

貝類の流通・取扱実態に係る事業者へのヒアリング結果 ＜使用している名称・貝類の取扱状況（アサリ類）＞

現行ガイド ラインへの掲 載	標準和名	学名	一般的名称例	使用している名称				
				豊洲市場 卸売業者5社	水産商社	加工業者A	加工業者B	加工業者C
○	アサリ	<i>Ruditapes philippinarum</i>	—	アサリ	×	アサリ	×	×
○	ヒメアサリ	<i>Ruditapes variegatus</i>	アサリ	×	×	×	×	×

×：“取扱無し”もしくは“種等の認識無し”

ヒアリング対象 事業者	結果
豊洲市場 卸売業者5社	・ヒメアサリの取扱無し。
水産商社	・取扱無し。
加工業者A	・アサリ：中国産を使用。 ・アサリ：通常は、むき身の冷凍品で入荷。 ・種を確認するため、殻を取り寄せて、アサリであることを確認した。
加工業者B	・取扱無し。
加工業者C	

貝類の流通・取扱実態に係る事業者へのヒアリング結果 ＜使用している名称・貝類の取扱状況（ハマグリ類）＞

現行ガイドラインへの掲載	標準和名	学名	一般的名称例	使用している名称				
				豊洲市場 卸売業者5社	水産商社	加工業者A	加工業者B	加工業者C
○	ハマグリ	<i>Meretrix lusoria</i>	—	ハマグリ	×	ハマグリ	ハマグリ	ハマグリ
○	チョウセンハマグリ	<i>Metetrix lamarckii</i>	ハマグリ		×			
○	シナハマグリ	<i>Metetrix petechialis</i>			×			
○	タイワンハマグリ	<i>Metetrix meretrix</i>			×			
○	ミスハマグリ	<i>Metetrix lyrata</i>			×			
○	ハマグリ属	<i>Metetrix</i>			×			

×：“取扱無し”もしくは“種等の認識無し”

ヒアリング対象事業者	結果
豊洲市場 卸売業者5社	・「ハマグリ」として流通しているものの9割が「チョウセンハマグリ」である。 ・種で分けておらず、「ハマグリ」として扱っている。
水産商社	・取扱無し。
加工業者A	・中国産を使用。 ・「ハマグリ」として入荷。むき身であり、種は確認できない。
加工業者B	・中国産、千葉県産を使用。 ・「ハマグリ」で入荷しており、種名は調べていない。
加工業者C	・中国産、ミャンマー産を使用。 ・「ハマグリ」として入荷。むき身であり、種は確認できない。